

激変する社会の中で、将来職業に就くために必要な力の育成

～人間がAIやロボットに負けない力とは何かを考える授業を通して～

1. 設定の理由

近年の世の中の変化のスピードは増すばかりで、インターネットやSNSの普及で、手軽に多くの情報を手に入れることが容易になった。このことで、他人の体験を見たり聞いたりして知識を得ただけで、何でも理解したように錯覚し、実体験を軽視し、面倒臭がる生徒が増えた。

一方、近年、AI（人工知能）やロボットの発展がめざましく、2016年10月末に発表された試算によると、現存する職業のうちの半数近くは人手がいらなくなるとされて話題になった。生徒たちが将来就きたいと思っていた仕事が、コンピューターやAIに取って代わられる可能性が大いにある。

そこで、今の中学生が将来AIやロボットに代替えされない職業につくためには、今からどのような力を身につけていかなければいけないか、自ら考え行動できる生徒を育成したいと考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

○将来生徒たちが就きたいと思っている仕事がどのように変化していくかを予想することで、より現実的に身近な職業について考えることができるであろう。

○世の中が大きく変化していても、AIやロボットに負けないような力とは何かを考える過程を通して、中学校生活の中で、生徒同士、生徒と教師など人間同士の関わりの中で様々な体験をすることの大切さを再認識し、将来に向けた望ましい職業観が形成されるであろう。

3. 研究内容

(1) 本校は千葉ニュータウンの中に位置し、学区は静かな住宅地域で生徒の多くは中高層の集合住宅に住んでいる。家庭的には核家族や共働きがほとんどである。また実体験が不足している一方で、インターネットの普及により、知識は豊富だが偏りがある。

(2) 指導計画の工夫は特別活動の中で、なるべく多くの体験(キャリア教育)を取り入れ、3年間を見通した中で2年生の11月に、本題材を職場体験と平行して学習できるように設定をした。

(3) 授業実践として中学生のなりたい職業ランキングや、実際に就業者数の多い職業ランキングから100近い職業をピックアップし、職業の内容や適正を班ごとに調べさせ、将来職業に就くために必要な力とは何か考えさせた。

4. 結論

○将来、AIやロボットに代替えされる仕事とそうでない仕事の違いについて考えることができた。

○学校行事や日常生活の中で、人との関わりを積極的に行うことが大切であるということがわかった。

研究主題

激変する社会の中で、将来職業に就くために必要な力の育成
～人間がAIやロボットに負けない力とは何かを考える授業を通して～

1. 主題設定の理由

(1) 新学習指導要領から

平成28年12月21日に中央教育審議会より、学習指導要領等の改善及び必要な方策等について答申が発表された。その中で「急速な情報化や技術革新は人間生活を質的にも変化させつつある。」「社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難となってきており、しかもそうした変化が、どのような職業を選択するかにかかわらず、全ての子供たちの生き方に影響するものとなっている。」とある。全ての子供たちの生き方にかかわるのであれば、それは当然義務教育で扱うべき内容である。また、「人間ならではの感性を働かせてより豊かなもの」へとするための能力を養うには、学校は大切な場所である。学校は多様な価値観を持った生徒同士、生徒と教師の関わりのある場である。教科の学習の中での、また行事や生活の中での協力したり、ぶつかりながら協働することは、AIやコンピューターが相手ではできない貴重な経験をする時間である。

特にキャリア教育においては、AI（人工知能）の進化やIoT（モノのインターネット）の普及、就労形態の変化が著しい中、『AIの急速な進化が、人間の職業を奪うのではないか』、『今学校で教えているのは時代が変化したら通用しなくなるのではないか』といった不安の声も聞かれる。しかしその不安を払拭し、ひとり一人が「未来の創り手になろう」「将来の夢を実現しよう」と前向きに中学校生活を送ることができるように、試行錯誤していかなければいけない。

(2) 社会的背景と生徒の実態から

近年の世の中の変化のスピードは増すばかりで、特にインターネットやSNSの普及で、手軽に多くの情報を手に入れることが容易になった。このことで、生徒の中にはインターネットやSNSで他人の体験を見たり聞いたりして知識を得ただけで、何でも理解したような気持ちになってしまふことが多い。実体験が少ない上に、新たな体験には臆病で、「面倒くさい」という言葉が出てきてしまう傾向がある。

また、近年、AI（人工知能）やロボットの発展がめざましい。2016年10月末に野村総合研究所と英オックスフォード大学のマイケルA. オズボーン准教授らの共同研究が発表された試算によると、10年～20年後には現存する職業のうちの半数は人手がいらなくなるとされて話題になった。生徒たちが将来就きたいと思っていた仕事が、AIやロボットに取って代わられる可能性が大いにあるということである。最近のニュースをみていると、現在、運送業や販売業は人手不足であるが、数年先にはこれらの職業のうち多くはAI搭載の自動車やロボットに取って代わられる。こういった急激な社会の変化に対応できる生徒の育成は急務である。

アンケートの結果からは、これから身につけなければいけないものに、知識・学力がトップになっている。もちろん知識を身につけ、学力を高めることは大切である。しかし知識や学力

だけでは、むしろAIやロボットにはかなわなくなる。したがって、AIやロボットに代替えられない職業、つまり人だからこそできる職業につくための能力は身に付ける必要がある。ではその能力とは何か。人だからこそできる職業（逆に言えば、AIやロボットには難しい職業）に必要な能力は、知識や学力だけでなく、相手の気持ちを想像する力や共感的なコミュニケーション能力、臨機応変な判断力、心からの優しさや思いやりではないかと考える。結局どんなに世の中が変化しても、人間同士の関わりの中で様々な体験をし、互いに助けたり助けられたりすることで信頼関係や思いやりの気持ちを持つことの大切さは普遍的なものであるということを理解させ、将来に向けた望ましい職業観を形成したい。そしてそれらを身につける大切な時期である中学生時代を有意義に過ごして欲しいと考え、このテーマを設定した。

2. 研究仮説

○将来生徒たちが就きたいと思っている仕事がどのように変化するかを予想することで、より現実的に身近な職業について考えることができるであろう。

○世の中が大きく変化していても、AIやロボットに負けないような力は何かを考える過程を通して、中学校生活の中で、生徒同士、生徒と教師など人間同士の関わりを通して、様々な体験をすることの大切さを再認識し、将来に向けた望ましい職業観が形成されるであろう。

3. 研究内容

○生徒の実態

印西市立西の原中学校は、千葉ニュータウンの中に位置し、平成6年度に開校し、開校24年目を迎える学校である。学区は静かな住宅地域で、生徒の多くは中高層の集合住宅に住んでいるが、近年は戸建て住宅も増えてきている。ここ数年、地域の開発が急ピッチに進み、学校の周辺にも大型の商業施設がいくつも進出している。

家庭的には核家族や共働きがほとんどである。2年次の林間学校で白根山登山を実施したが、それ以前に登山を経験した生徒は、小学校の時の筑波山登山がほとんどで、自然体験は少なく、同様に社会経験も少ないと思われる。そのため、世間の学校行事簡素化の流れに逆らい、できるだけ学年行事の中で、体験活動を取り入れた。

○指導計画の工夫

年間計画（特別活動）

年間の学校教育の中で、なるべく多くの体験を取り入れるようにした。

月	特 活	進 路	1 学年	2 学年	3 学年
4	○		学習方法について	学習方法について	学習方法について
5	○		学習計画・ピア・サポート	学習計画・林間学校の準備	学習計画・
6	○ ○ ○ ○	○	自分を知ろう 将来の夢と希望 学習計画・学習方法の見直し	将来の生き方と学習 働くことの目的と意義・ 職業の世界・職業調べ① 進路コンパス 林間学校 学習計画・学習方法の見直し	第1回進路説明会 (高校の先生を招いて) 進路計画を立てる 学習計画・学習方法の見直し
7	○ ○ ○ ○		夏休みの学習計画	夏休みの学習計画 進学(高校)調べ	夏休みの学習計画 高校訪問計画を立てよう 希望校調査 三者面談
8		○	働く人へのインタビュー	職場体験学習事業所依頼	高校説明会・体験学習参加
9	○ ○	○	学習計画・学習方法の見直し ボランティア体験をしよう	職業調べ② 職場体験に向けての準備	学習計画・学習方法の見直し 高校説明会・体験学習報告会
10		○ ○	働く人々のすがた	職場体験に向けての準備	進路計画決定に向けて 第2回進路説明会
11	○ ○ ○		学習計画・学習方法の見直し 働く人々の仕事と考え	学習計画・学習方法の見直し 職場体験学習 職場体験に基づく学びの 実践事例について	学習計画・学習方法の見直し 三者面談
12		○		職場体験報告会発表	進路決定のために(面接・作文・ 願書の記入・学習方法の見直し)
1		○	予餞会準備	予餞会準備	入試指導
2		○	進路計画の必要性・立て方 学習計画・学習方法の見直し	自分の適正・自分の進路 学習計画・学習方法の見直し	自分を見つめる(将来の生活へ の心構え)
3		○	予餞会	予餞会	入試を終えて(3年生から 1・2年生へ)

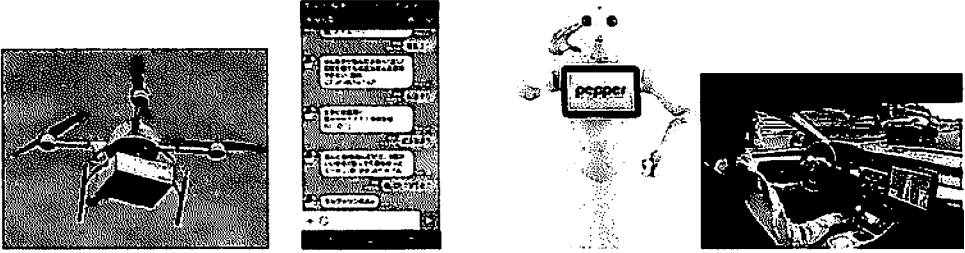

○授業実践

(1) 職業調べ (2時間)

中学生のなりたい職業ランキングや、実際に就業者人数の多い職業ランキングから100近い職業をピックアップし、職業の内容や適性を班ごとに調べ、一覧表を作り他の班にも配布。

(2) 将来職業に就くために、必要な力は何か考えよう (本時)

～AIやロボットに負けない力をつけよう～

学習過程	学習活動と生徒の反応
①導入	 <p>近年のAIやロボットの発展がめざましいことに改めて気付く。</p>
②課題提示	<p>「将来職業に就くために、必要な力は何か考えよう」</p> <p>近い将来、今ある職業の半分近くがAIやロボットに代替される可能性があることに、驚いているようだった。</p>
③班活動	<p>用意されたカードの中から代替される職業と、されにくい職業に分類する。職業の内容については、前に調べたプリントで確認する。</p> <p>4人グループの中で、活発な話し合いが行われた。</p>
④発表	<p>グループで分類した結果を発表する。 (ロボットに代替できない職業を発表する)</p> <p>自分たちのグループと違う結果だった場合には、その場で指摘する意見がでた。</p> 
⑤全体の話し合い	<p>ロボットに代替できない職業に共通する傾向を考える。</p> <p>クリエイティブな職業・マネージメント的な職業・ホスピタリティが必要な職業に分ける。複数の要素が含まれるものもあることに気付いた。</p>
⑥まとめ	<p>これらの職業につくためには、今から身につけるべきことは何か考える。</p> <p>中学校生活のひとつ一つが大切であることに気付いた生徒も多い。</p>

○成果と課題

<成果>

- ・世の中には様々な職業があることを理解し、職業全体に対する理解が深まった。
- ・将来、A Iやロボットに代替えできる職業とそうでない職業の違いは何かを考える過程で、職業の適性について深く考えるようになった。
- ・将来の職業を決める上で、日頃から何事にも興味や関心を持つこと、自分の考えを持つこと、人との関わり合いが大切だと気付く生徒が多かった。
- ・今の自分の延長線上に将来の自分があり、今の自己の特性を理解し、成長させていくことが職業選択の幅を広げるということに気付く生徒が増えた。その上で、自分の将来を真剣に考え、その実現に向け現在の生活や学習スタイルを見直し、これからの生き方について考え、普段の学校生活の様々な活動の中で積極的に取り組もうとする生徒が増えた。
- ・授業を通して、A Iやロボットの進化（発展）によって大きく世の中が急激に変化していくことに気づき、新聞の記事等に目を通す習慣がついてきた生徒も増えてきた。
- ・クリエイティブ、ホスピタリティ、マネジメントなどの語彙の意味を大まかに理解し、A Iやロボットに代替えできない職業の持つ特性として理解できた。
- ・教科の中でも教え合い学習や班活動を取り入れる場面が増えたので、積極的にコミュニケーションをとろうという場面が多く見られるようになった。

<課題>

- ・A Iやロボットについては日進月歩の発展を遂げている。また、将来どのような職業に就けるかは、雇用形態の変化や経済の動向にも大きく変化し、その変化は一定ではない。そのため、キャリア教育を進める上で、教師自身が常に世の中の動向に敏感でなければいけない。
- ・将来生徒が職業に就くためには、自分の特性を理解して伸ばしたり、社会の変化に敏感になり、柔軟に対応できる力を育てる必要がある。そのためには、各教科、学校全体で取り組むのはもちろん、地域や企業の協力も必要である。
- ・キャリア学習を行った時点では意識が高くなるが、その意識を継続させていく工夫が必要である。

資 料

- (資料1)・・・P 1～P 5 学級活動指導案
- (資料2)・・・P 6 西の原中学校アンケート結果
- (資料3)・・・P 7 授業風景 (写真)
- (資料4)・・・P 8 中学校の人気職業・就労者数の多い職業
- (資料5)・・・P 9 職業の内容と必要な能力
- (資料6)・・・P 10～P 12 「将来職業に就くために、
今やるべき事はなにか、考えよう。」
- (資料7)・・・P 13 小学生・中学生・高校生の
「将来なりたい職業」ランキングトップ10

仕事の半分「AI・ロボットで可」

ロボットなどへの代替可能性が高い職業と低い職業

高い	低い
一般事務員	医師
レジ係	学校教員
清掃員	研究者
タクシー運転手	プログラマー
銀行窓口係	観光バスガイド
受付係	美容師
ホテル客室係	プログラマー
路線バス運転手	エコノミスト
建設作業員	俳優
スーパー店員	機械師

※並びは代替可能性とは無関係

職業の選択肢 狭まる可能性

調査は、野村総研と英オックスフォード大学共同

10、20年後野村総研など推定

国内で働く人の約半数が、10、20年後に就く仕事は、AIやロボット、人工知能(AI)やロボットに置き換えられるとの推定を、野村総合研究所と英オックスフォード大学の共同調査で明らかにした。調査は、野村総研と英オックスフォード大学の共同調査で明らかにした。調査は、野村総研と英オックスフォード大学の共同調査で明らかにした。

* 2016年10月26日(水)の朝日新聞より

(資料1)

第2学年〇組 学級活動指導案

指導者 〇〇 〇〇

展開場所 2年〇組教室

1 題材名 「将来職業に就くために、必要な力は何か考えよう」

～AIやロボットに負けない力をつけよう～

内容(3)エ 望ましい勤労観・職業観の形成

2 題材について

(1) 生徒の実態

男子19名(特別支援学級生徒1名含)・女子19名の38名の学級である。本学級の生徒は、能力的にも性格的にもばらつきがあり、個性豊かな生徒が多い。特に男子には、その傾向が顕著である。運動が得意で体育祭や合唱コンクールなどの行事には熱心に取り組むが、学習には目が向かない生徒がいる。一方で、知識は豊富で自分の利益になる事には関心が高いが、それ以外のことには意義を見いだせない生徒もいる。また、これといった自分の考えを持たず、何事も周囲の人間に任せ、流れに乗っているだけの生徒など、さまざまである。女子はまじめにコツコツ取り組む生徒が多いが、今現在の楽しみを優先し、感じたことをすぐに言葉に出し、周囲を驚かせる生徒もいる。まじめな女子の中にはそういう個性豊かな生徒に押され、自分の意志をきちんと伝えられない生徒も多い。そんな個性豊かな面々が将来にむけて、今自分に足りない力、身につけなければいけない力は何かを見つめ、互いの良い面を吸収し合いながら成長できる集団にしたい。

(2) 主題設定の理由

中学2年生になって進路への関心は少しずつ高まり始めた。また職場体験では、身近な職業に触れ、働くことの意義や大変さを感じる事ができたように思う。しかし、アンケート結果からわかるように、まだはっきりした進路希望が決まっている生徒はまだ少ない。将来の自分と中学生である今の自分は別物ではなく、今の自分の延長線上に将来の自分があるということを、まず気付かせたい。長く続く仕事の要素として一般的に言われているのは①自分の得意なこと②自分の好きなこと③社会的需要があること、と言われている。その点では、仕事を選ぶ基準の中で、自分の得意なことや好きなことを生かし、長く続けられる仕事をしたいと考える生徒が多いことがわかる。

しかし、近年、コンピューターやAI(人工知能)の発展がめざましく、昨年末に野村総合研究所から発表された試算によると、現存する職業のうちの半数近くは人手がいらなくなるとされて話題になった。生徒たちが将来就きたいと思っていた仕事が、コンピューターやAIに取って代わられる可能性が大いにある。

一方、近年の世の中の変化のスピードは増すばかりで、インターネットやSNSの普及で、手軽に多くの情報を手に入れることができるようになった。このことで、生徒の中にはインターネット

やSNSで他人の体験を見たり聞いたりして知識を得ただけで、何でも理解したような気持ちになり、実体験が少ない上に、新たな体験も面倒くさがる傾向がある。アンケートの結果からも、これから身につけなければいけないものに、知識・学力がトップになっている。もちろん知識を身につけ、学力を高めることは大切である。しかし知識や学力だけでは、コンピューターやAIに代替えされない職業、つまり人だからこそできる職業につくための能力は身に付かない。知識や学力をつける他に、人だからこそできる職業（おもにクリエイティブな職業、マネージメント的職業、ホスピタリティの必要な職業）に必要な能力は、相手の気持ちを想像する力や共感的なコミュニケーション能力、臨機応変な判断力、心からの優しさや思いやりである。どんなに世の中が変化しても、人間同士の関わりの中で様々な体験をし、互いに助けたり助けられたりすることで信頼関係や思いやりの気持ちを持つことの大切さは普遍的なものであるということを理解させ、将来に向けた望ましい職業観を形成したい。そしてそれらを身につける大切な時期である中学生時代を有意義に過ごして欲しいと考え、この題材を設定した。

アンケート結果（対象37名）・・・（資料2）参照

①将来のつきたい職業は決まっていますか？

- ア、決まっている（13人）
- イ、決まってはいるが、なんとなく希望はある（16人）
- ウ、決まっていない（8人） → なぜ決まっていないのですか？
 - 自分が何に向いているかわからない（7人）
 - 仕事につきたくない（1人）

②どういう基準で職業を選びたいですか？

A次から3つ

- ア、収入が多い（23人）
- イ、長く続けられる（22人）
- ウ、自分の好きなことや得意なことを生かす（22人）
- エ、私生活と両立できる（19人）
- オ、世の中の役に立つ、人を助ける（12人）
- カ、自分が成長できる（5人）
- キ、世の中の注目を集める（1人）

B次から1つ

- ア、人と接する（13人）
- エ、体を使う（6人）
- イ、物作りに関わる（3人）
- ウ、事務仕事（4人）
- オ、文章や作品を作る（2人）
- カ、コンピューター関係（4人）

③将来、職業につくために、今自分が身につけなければいけないことは何だと思いますか？（3つ）

- ア、知識・学力（28人）
- イ、コミュニケーション能力（19人）
- ウ、集中力（15人）
- エ、体力（10人）
- オ、計画性（10人）
- カ、忍耐力（7人）
- キ、優しさ・思いやり（5人）
- ク、自主性（5人）
- ケ、協調性（4人）
- コ、想像力（3人）
- サ、まじめさ（2人）

④AI（人工知能）という言葉聞いたことがありますか？

ア、はい (28人) イ、いいえ (9人)

3 学級活動（3）の本実践における評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
人間としての生き方や学ぶこと、働くこと等に関心を持ち、自己のよさを伸ばしながら、自主的、自律的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返り、これからの自己の生き方・働き方などについて考え、判断し、実践している。	学ぶことと働くことの意義や、自己の能力や適性、進路選択に必要な情報収集や将来設計の仕方などについて理解している。

4 本題材のねらい

○自分自身が将来職業に就くために、共通して必要な能力があるということに気付かせる。

○その能力を身につけるために、中学校生活を大切にしていこうという気持ちを育む。

5 事前の活動

時配	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
2時間	自分の適性を知る	進路コンパスの質問内容に直感的に答えるようにして、結果を意図的に操作させない。	【知識・理解】 自己の能力や適性を客観的に知ることができる（観察）
2時間	職業の世界について考える	職業と産業の違いに留意する。どんな仕事も世の中にとって必要な仕事であることを押さえる。	【知識・理解】 職業と産業の違いや世の中に様々な職業があることを理解する（観察）（学習シート）
3時間	職場体験学習 事前準備	事業所によって、行き方、体験内容が違うので、ひとり一人が確実に理解できるようにする。	【関心・意欲・態度】 自主的に自分の体験する内容や行き方について調べる。（観察）（学習シート）
2日間	職場体験学習	交通事故、体験中の事故に注意する。どんな体験にも積極的に取り組み、挨拶、マナーなどに気をつけ、失礼のないようにする。	【思考・判断・実践】 自分の体験する内容に興味を持ち、積極的に実践する。（観察・事業所からのアンケート）
2時間	事後レポート・	なるべく具体的なできごとを書く	【思考・判断・実践】

	お礼状作り	ことによって、自己の取り組みを振り返らせる。受け取った方が嬉しくなるような感謝状にする。	事業所の方の立場に立って、心のこもったお礼状が書ける。(観察)
--	-------	--	---------------------------------

6 本時の展開

(1) 本時の活動のテーマ

「将来職業に就くために、必要な力は何か考えよう」

～A Iやロボットに負けない力をつけよう～

展開

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
活動の開始 10分	1 本時の活動の課題、流れについて説明を聞く。 2 本時の課題を確認する。	A Iやロボットが今以上に社会に進出する近い将来について考えさせる。 将来職業に就くためには、今から準備が必要であることに気付かせる。	・車の自動運転、ネットショッピングの普及等について思い起こす。 ・本時の課題について興味を持つ。
活動の展開 25分	3 グループの話し合い ①中学生の人気職業や就労人口の多い職業の中で人にしかできない職業、A Iやロボットに替わられる職業に分ける。 ②人間にしかできない職業に必要な力は何か考える。	話し合いがうまくいかないグループには助言する。	・カードを使って、職業を分類する。またそうなる理由についても話し合う。 ・人間にしかできない職業には創造力やコミュニケーション能力(表現力)、思いやり、判断力などが必要であることに気付く。
	4 発表	理由を含めて、話し合いの結果を発表させる。他の班の発表を自分の班の内容と比較しながら聞くように促す。	・他の班の発表を聞き、自分の考えを深める。
	5 全体の話合い	A Iやロボットに替われない	・発表された職業に必要な能

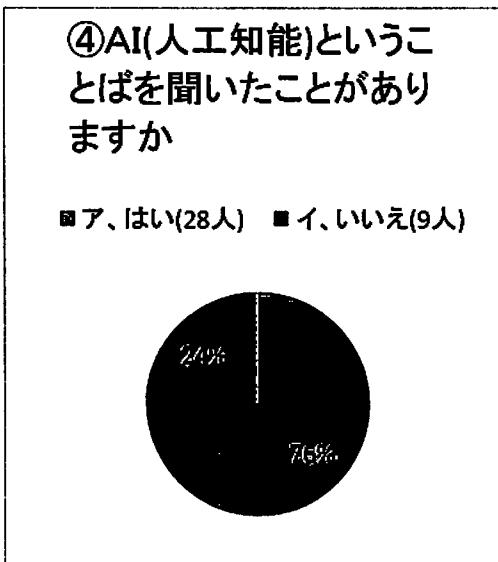
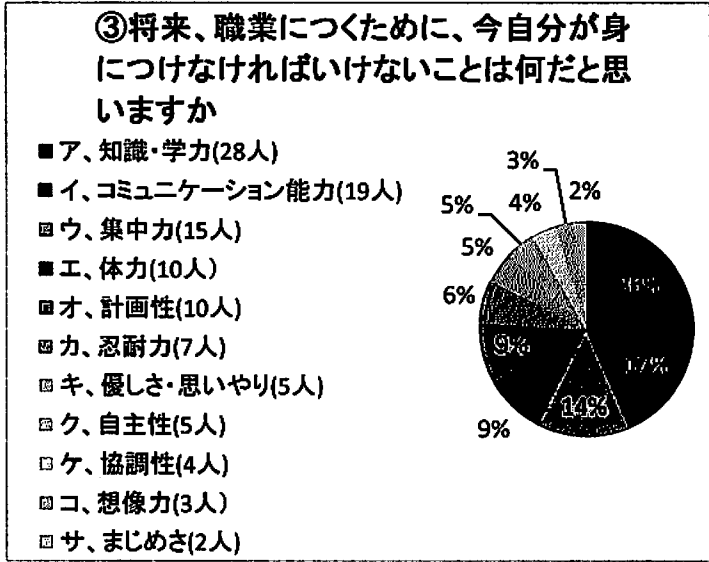
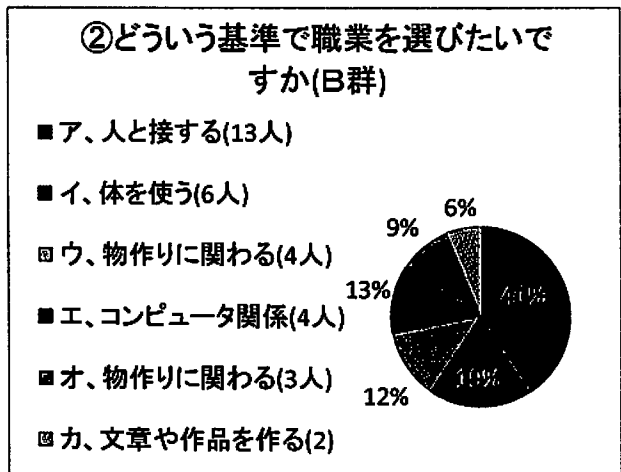
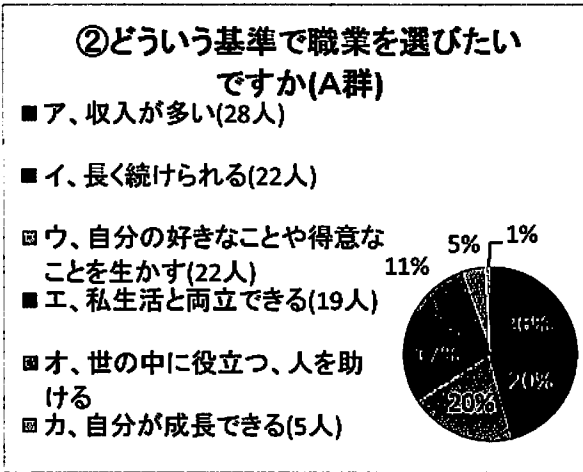
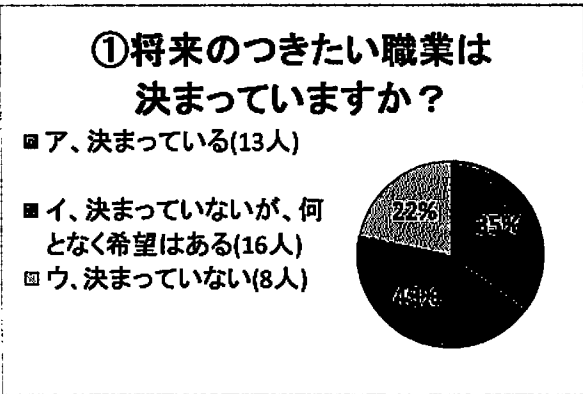
	人間にしかできない職業を傾向が似ている職業のグループに分ける。	職業は大きく3つに分けられる(クリエイティブな職業・マネージメント的な職業・ホスピタリティが必要な職業)ことを説明する。	力の共通点を見いだす。
活動のまとめ 15分	6 まとめ これらの能力をつけるために、今やらなければいけないことは何か考える。 7 自分の考えを友だちに伝える 8 教師の話聞く	それぞれの職業に就くために、今から身につけるべきことは何か考えさせる。 数名に発表させ、意見を共有させる。	【関心・意欲・態度】 学校生活に前向きに取り組み、仲間との関わりの中で、想像力や思いやり、コミュニケーション能力、判断力をつけていかなければいけないことに気づく。(観察)(学習シート)

7 事後の活動

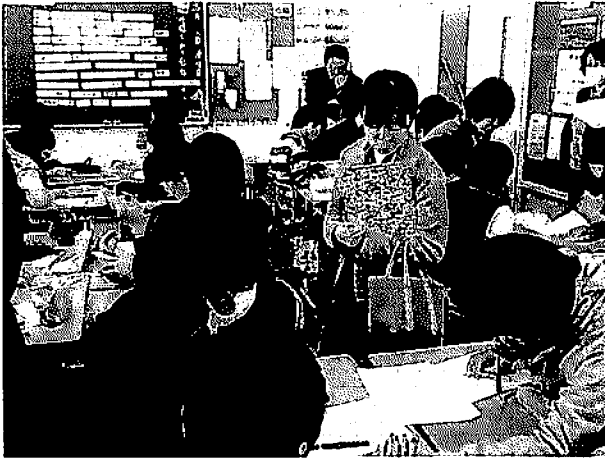
日時	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
11月	職場体験発表会	講師の話や他の事業所での体験を聞き、自分の体験と比較させる。	【思考・判断・実践】 自分の体験と講師の話や他の事業所の発表を比較しながら聞くことができた。 (学習カード)

(資料2)

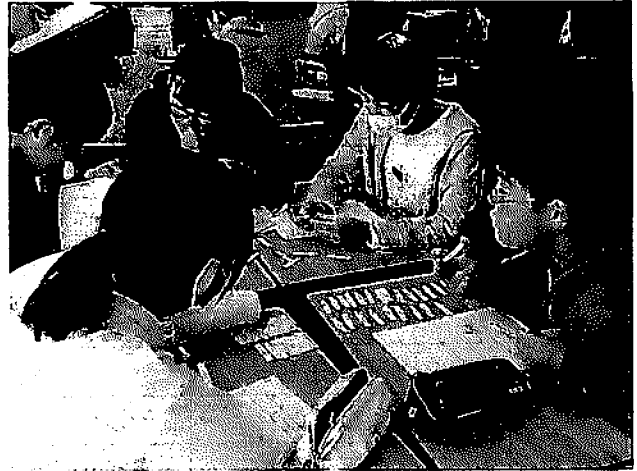
西の原中学校アンケート結果(平成28年11月実施)



(資料3)



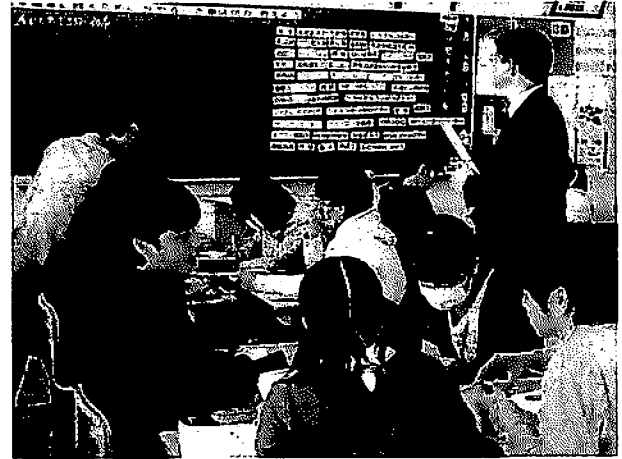
[写真1]職業のリストとから仕事の内容適性を調べる。



[写真2]班で話し合い人にしかできない職業、AIやロボットに替わるような職業を分ける。



[写真3]人間にしかできない職業に共通する特性を話し合う。



[写真4]人間にしかできない職業は大きく3つに分かれる。

- ・クリエイティブな職業
- ・マネージメント的な職業
- ・ホスピタリティーが必要な職業

(資料4)

中学生の人気職業・就労者数の多い職業 (授業ではカードにして使用)

通訳	ホームヘルパー	銀行窓口	警察官
タクシー運転手	僧侶	金融ディーラー	美容師
システム・エンジニア	エステティシャン	臨床心理士	建築家
介護職員	ビル清掃員	ファッションデザイナー	アニメーター
自動車整備士	歯科衛生士	プロスポーツ選手	薬剤師
警備員	イベントプランナー	ゲームクリエイター	大工
調理師	スーパー店チェッカー	ツアーコンダクター	作家
機械組立工	洗濯工	パティシエ	獣医師
娯楽接客員	テレビディレクター	公務員	納棺士
溶接工	ネイルアーティスト	医師	声優
自動車外交販売員	秘書	保育士	グラフィックデザイナー
理学療法士	栄養士	イラストレーター	フライダルコーディネーター
バス運転手	速記者	グランドホステス	歌手
作業療法士	スポーツ審判員	編集者	映画監督
給仕従業者	翻訳家	消防士	ナニー
保険外交員	貨物自動車運転手	看護師	幼稚園教諭
トリマー	中学校教師	アナウンサー	自衛隊
動物園の飼育係	スタイリスト	シェフ	エンジニア
カメラマン	税理士	芸能マネージャー	絵本作家
芸人	画家	スポーツトレーナー	トラベルコーディネーター
インテリアプランナー	建設作業員	郵便配達員	マンション管理人
牧師	ペンション経営	パイロット	駅長
漁師	ワープロ・オペレーター	新聞記者	経理事務職員
ブローカー	観光バスガイド	弁護士	プール監視員

(資料5)

職業の内容と必要な能力

班 メンバー

職業名	仕事内容	必要な能力
銀行窓口	ハイカウンター→普通預金などの入出金 ローカウンター→お金の支払いなど お金の書類の多い仕事	コミュニケーション能力 数字の正確性
金融ディーラー	ハイカウンター→素早い処理 ローカウンター→ていねいに仕事	社会処理能力、情報に対する理解力、正確なアカウンツ、お金の処理の正確さ
臨床心理士	心の問題を抱えている人や集団に対して心理学的援助をする専門職	語学力、やさしさ
ファッションデザイナー	洋服をデザインする専門家。デザイン画を書いたり、洋服ができてあがるための指揮をする	創造性
プロスポーツ選手	スター選手を目標に頑張るだけの価値がある魅力的な仕事。	努力、本番で力を発揮する力
ゲームクリエイター	ゲーム制作に関わるすべてのクリエイター、ゲーム企画〜完成まで統括する責任者	創造性
ツアーコンダクター	ツアーを安全で快適な、楽しいものにする仕事	英検二級以上 旅程管理主任者
パティシエ	菓子職人、さまざまの洋菓子を専門に作る	努力と続ける事
公務員	国系系、地方系、三法律系、経済系、公務系、教育系、その他に分かる	責任感、使命感、真面目にこなす責任、コツコツやる、市民の事を考える
医師	なんらかの原因で体や心を病んでいたり、傷ついている人々を癒やすこと。	医師国家試験合格 やさしい判断力
保育士	就学前に基本的なマナーを身に付けさせ、心身の健やかな発達をサポートする。	やさしさ
イラストレーター	本や雑誌、ポスターなどにいる絵を描く。	絵を描く事が好き、パソコンを叩かせる。
グランドホステス	各空港での発券業務、地上での乗客サービスを担当	高い英語力、心配りかできること。
編集者	出版社に勤務して、出籍や雑誌を編集する人を指す	企画力や文章力
消防士	「消火」「救助」「防災」「救急」などの活動が主な仕事	体力、精神力、忍耐力
看護師	病気や怪我の患者のケア	日々の体力、精神力 観察力

(資料6)「将来職業に就くために、今やるべき事は何か、考えよう」

3. その能力をつけるためにして、今何をすればよいでしょうか？

仕事にあった勉強をする。判断力や人の思いやり
力をつける。→たくさん人と関わら
感情表現をしっかりとする。
いろんな人と話す ←

4. 今日の授業を通して、感じたことを書きましょう。

将来、仕事につくためには今の中学校生活
がとても大切だと感じました。少し意識すれば
今からでも将来のためになることをできるので
頑張りたいです。
今の生活が将来につなげたいです。
今できることをしっかりとやっていこう
（努力のこと）

3. その能力をつけるためにして、今何をすればよいでしょうか？

仕事で大切なことはコミュニケーションの思いやりが一番
大切で、私はうまくコミュニケーションがとれないので
今から多くの人達とかがかわること大切だと思いま
した。 1日1回クラスの人と粉と話すようにする。
今からたくさん
多くの人と関わって
多くの経験をして
いきましょ

4. 今日の授業を通して、感じたことを書きましょう。

10年後、20年後 ロボットが中心になっていく仕事も
あるかもしれないが人間にしかできない判断力。
思いやり、おまてなしなどを大切にしてほしいと思
いました。大阪の一部のホテルでは、客をロボット
がやっているところもありました。

「将来職業に就くために、今やるべき事は何か、考えよう」

3. その能力をつけるために、今何をすればよいでしょうか？

フリエイティブ、ホスピタリティ、マネジメント能力をきたえておく。ホスピタリティはきたえすぎず。今から意識して人と関わり、しっかりコミュニケーションをできるようにする。クラスの役割と、ちゃんと話せるようにする。

4. 今日の授業を通して、感じたことを書きましょう。

ロボットやAIにはない人間らしさを育てたいなと思いました。具体的には自分の意見をしっかりと、思いやり、判断力、コミュニケーション能力を今からできるようにしていきたいな、と思いました。

そのためにも今から、73歳のことに挑戦。経験していい？

3. その能力をつけるために、今何をすればよいでしょうか？

その能力にあつた勉強をする。

思いやり、おもてなしや責任感をきたえる(強くする)

今からこれから力を身につけるために、

たくさんの人と関わり、73歳の経験をしたい。

4. 今日の授業を通して、感じたことを書きましょう。

社会には色々な仕事があるけど、どの仕事にもそれだけつけないといけない能力や知識など。たくさんの方が必要になってくるなと思いました。今日のことを今後には生かしていかれるようにしたいです。

「将来職業に就くために、今やるべき事は何か、考えよう」

3、その能力をつけるためにして、今何をすればよいでしょうか？

コミュニケーション (人の気持ちを感じる)

礼儀 判断力 創造力 勉強

いさゝか経験をする! 自信を持つ

礼儀 (あいさつをしっかりとる、マナーを守るなど)

4、今日の授業を通して、感じたことを書きましょう。

この先 AI やロボットに変わるかもしれないけれど

人間にしか出来ないこととしっかりとる。いさゝか経験

経験していいこと思える

この時代は 人にしか出来ない!!

多くの経験、人の関わりが (き)

必要だから

3、その能力をつけるためにして、今何をすればよいでしょうか？

色々なことを考える (出来事の原因、思ったこと) 人に思いやり

の心を持つ、自分の良い所を見つけて、それを伸ばす、新しい事に

挑戦する。

ロボットに勝つための力を伸ばして (き)

1日づつ自分の長所を見つける。

4、今日の授業を通して、感じたことを書きましょう。

色々なものが機械化しているのは知っていたけど、これから機械して

いきそうな職業を考えると、思っていたよりもたくさんあって、機械化が

進むことは、便利になっていく反対に職に就く側にとっては困ること

なんだと思った。

(資料7)

小学生「将来なりたい職業」ランキングトップ10 (2016年5月2日～10月31日実施)

*日本FD協会アンケート集計結果(全国:男子児童1692名,女子児童1914名)

男子児童			女子児童		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	サッカー選手・監督など	11.0	1位	保育士	6.9
2位	野球選手・監督など	8.7	2位	医師	6.1
3位	医師	6.1	3位	パティシエール	5.7
4位	ゲーム制作関連	4.2	4位	看護師	5.0
5位	建築士	2.8	5位	薬剤師	3.8
6位	バスケットボール選手・コーチ	2.7	6位	獣医	3.7
7位	教師・教員	2.4	7位	教師・教員	3.6
8位	警察官・警察関連	2.3	8位	デザイナーファッション関連	3.5
8位	水泳選手・コーチ	2.3	9位	美容師	3.1
10位	テニス選手・コーチ	2.2	10位	幼稚園教諭	2.3

中学生「将来なりたい職業」ランキングトップ10 (2017年3月21日～27日実施)

*ソニー生命(株)アンケート集計結果(全国:男子100名,女子児童100名)

男子生徒			女子生徒		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	ITエンジニア・プログラマー	24	1位	歌手・俳優・声優などの芸能人	19
2位	ゲームクリエイター	20	2位	絵を描く仕事(マンガ家・イラストレーター)	14
3位	YouTubeなどの動画投稿者	17	3位	医師	13
4位	プロスポーツ選手	16	4位	公務員	11
5位	ものづくりエンジニア(自動車設計など)	13	5位	文章を書く仕事(作家・ライター)	10
6位	公務員	11	6位	保育士・幼稚園教諭	9
7位	学者・研究者	10	7位	教師・教員	8
7位	社長などの会社経営者・起業家	10	7位	ゲームクリエイター	8
9位	教師・教員	9	9位	デザイナー(ファッション・インテリア)	7
9位	医師	9	10位	YouTubeなどの動画投稿者	6
			10位	マスコミ関係(記者・テレビ局スタッフ)	6

高校生「将来なりたい職業」ランキングトップ10 (2017年)

*ソニー生命(株)アンケート集計結果(全国:男子400名,女子400名)

男子生徒			女子生徒		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	ITエンジニア・プログラマー	20.8	1位	公務員	18.8
2位	ものづくりエンジニア(自動車設計など)	13.8	2位	看護師	12.8
3位	ゲームクリエイター	12.5	3位	歌手・俳優・声優などの芸能人	12.5
4位	公務員	11.8	4位	教師・教員	10.8
5位	学者・研究者	9.5	5位	絵を描く仕事(マンガ家・イラストレーター)	9.8
5位	運転手・パイロット	9.5	6位	保育士・幼稚園教諭	8.8
7位	教師・教員	7.8	7位	カウンセラーや臨床心理士	8.5
7位	会社員	7.8	8位	デザイナー(ファッション・インテリア)	7.5
9位	プロスポーツ選手	7.3	9位	学者・研究者	5.8
10位	YouTubeなどの動画投稿者	6.8	9位	会社員	5.8